



横浜市立秋葉中学校

学校だより

令和8年9月1日発行

電話 811-6773 FAX 813-9438

あいさつから始めよう

校長 柿崎 順子

今年の夏休みは、7月の熊本県での地震、8月の千葉県での大雨被害、そして先日の茨城県での地震など、各地で自然災害が発生し、多くの方々が被害に遭われました。

自然災害、特に地震はいつ起こるか予測することができません。しかし、いざというときに備えておくことは大変重要です。

熊本地震の後、ある学校の先生とお話した際に、「『お・か・し・も』は本当に大切ですね」という話題になりました。「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」のことです。本校でも毎年避難訓練を実施していますが、訓練を単なる訓練で終わらせず、いざというときに生かせるものにするための大切さを改めて感じています。

この夏休みには、2年生の生徒が学校の防災について調べるためにインタビューに来てくれました。防災備蓄庫について質問を受けましたが、防災備蓄庫は地域の皆様のためのものであることから、地域の防災訓練に参加して実際に確認してみようことを勧めました。

私自身も毎年地域の防災訓練に参加していますが、地域の方々は中学生が参加してくれることをとても楽しみにしています。

戸塚区では「第5期とつかハートプラン」が策定されており、その取組の一つとして「防災」が掲げられています。そこでは「みんなで備える」という考え方が大切にされています。備蓄や訓練だけでなく、日頃から人と人とのつながりを深めていくことの重要性が示されているのです。

4 第5期計画の全体像

「基本理念」 ～計画の推進を通して目指す目標像～

誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現

【基本目標】

支えあいと
助けあいの
あるまち

みんなが
ふれあう場の
あるまち

安全・安心、
人にやさしい
まち

いつまでも
元気で健やかに
暮らせるまち

6

防災・防犯・健康
危機管理について
みんなで備える
まちになっている

※P44-49

私が6月に見学した福島県浪江町では、被災後のまちづくりについて住民の皆様が話し合ったワークショップの記録を見る機会がありました。そこには、「コミュニティ」や「居場所」という言葉が数多く記されていました。そして、「町民としてあなたは何をしますか」という問いに対して、こんな言葉がありました。

あいさつから始めよう！

誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会、そして誰もが安心して心豊かに過ごすことのできる秋葉中学校を目指して、一人ひとりができることから始めていきたいと思っています。